

令和6年度
事業計画書

令和6年4月1日

コスモペース株式会社

ぽっぽ第一保育園

目 次

- 1 計画策定にあたって
- 2 計画の基本理念
- 3 計画推進に当たっての視点
- 4 計画の着実な実行のために
- 5 基本的方向とその実現のための施策
- 6 施策を推進する事業

1. 計画策定にあたって

① 計画策定の趣旨

この計画は、園児を取り巻く環境や諸制度の変化に対応し、保育サービスの進むべき方向性を明らかにするとともに、その充実に資する取り組みの総合的かつ計画的な推進のために策定する

② 計画の策定主体 ぽっぽ第一保育園

③ 計画期間 令和7年度から令和10年度までの3年間とする

2. 計画の基本理念

この計画では、名古屋市の基本理念を受け継ぎ、「夢に向かって人生をきり拓くなごやっ子の育成」を基本理念とする

- ① なごや（郷土）が大好きで、なごや（郷土）をもっとよくしたいと望んでいる
- ② 豊かな感性と創造力を備える
- ③ 社会性を備え、他人を思いやり、協力・協調する
- ④ 人生をたくましく生きる力を備える
- ⑤ 未来への夢を抱き、学び成長し続ける

3. 計画推進に当たっての視点

この計画を推進するに当たり、3つの視点を重視する

- 「家庭・園・地域の環境」のもと、社会全体で子どもを育む視点
- 子どもの個々の状況と成長段階に応じた途切れることのない支援を行うとともに、生涯を通じた学びへの接続と学んだ成果が生きる好循環を実現する「学びの連続性」の視点
- 子どもたちの一人ひとり異なる個性を尊重しつつ、そのよさや可能性を見つけ、引き出し、伸ばす「子どもの応援」の視点

4. 計画の着実な実行のために

この計画を着実に実行していくために、次の6つの運営方針のもと、取り組むこととする

- チームの総力による充実した教育を実現するため、教育と医療・福祉の連携を図るなど、多様な専門性を取り入れ、活用していく
- 子どもや保護者の目線に立ち、各関係機関との連携を一層深めていく
- より優先順位の高い課題を見極め、人・財源等の経営資源を柔軟かつ集中的に投入していく
- 質の高い教育を実現する十分な財源を確保するため、従来の発想にとらわれないさまざまな歳入確保策に取り組んでいく
- PDCAサイクルによる本計画の進行管理を行い、評価結果をより効果的・効率的に反映していく
- 現場が直面している課題や現場目線での意見・アイデアを的確にとらえ、保育運営に反映していく

5. 基本的方向とその実現のための施策

この計画では、3つの「基本的方向」と、その実現を図る11の「施策」により、具体的かつ体系的な方策を定めて取り組むこととする

基本的方向Ⅰ 「なごやっ子」の資質と個性を育む“学び”の提供

幅広く学ぶ力、自分への自信と他人への思いやり、豊かな感性や健やかな心身といった資質を身に付け、夢を持ちその実現に向かって、たくましく生きることができるよう育てていく

施策1	個に応じたきめ細かな指導により、基礎基本を着実に身に付けさせるとともに、学ぶ力を伸ばしていく
施策2	人権を尊重し互いの多様性を認め合う心、豊かな創造力や感性、社会の一員としての規範意識や自覚を育んでいく
施策3	望ましい生活習慣を身に付けさせ、生涯にわたって健康に過ごすための心身を育んでいく
施策4	特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けた力を育んでいく
施策5	郷土に対する理解を深めるとともに、国際社会で通用する知識やコミュニケーション能力を身に付けさせ、グローバル社会で生きる力を育んでいく

基本的方向Ⅱ 保育士の資質向上と、教育環境の整備

職員のマンパワーの充実と保育施設・設備の水準向上を図り、園児たちの学びや生活のための環境を整える

施策6	豊かな人間性と確かな指導力を持った保育士を育成する
施策7	保育士が子どもや保護者と向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図る
施策8	安心・安全で快適に学ぶことができる環境整備を進める

基本的方向Ⅲ 保育園・家庭・地域の連携

保育園・家庭・地域が一体となって、「保育園・学校・地域の環」のもと、社会全体で子どもを育むなごやっ子の育成を推進していく

施策9	親子のふれあいと、家庭の教育力の向上を支援する
施策10	地域のつながりを大切にし、地域全体で子どもを見守り、育む
施策11	地域に開かれ、地域と共にある保育園づくりを進める

6. 施策を推進する事業

各施策を推進するため、以下に掲げる事業に取り組んでいく

【継続】 計画期間内において新たにに取り組む事業

【継続】 計画期間内において量的な拡大を図ったり、新たな内容を加えたりする事業

施策 1	個に応じたきめ細かな指導により、基礎基本を着実に身に付けさせるとともに、学ぶ力を伸ばしていく ・体力育成事業【継続】 ・担任制の導入【継続】 ・外国人英語講師の配置【継続】
施策 2	人権を尊重し互いの多様性を認め合う心、豊かな創造力や感性、社会の一員としての規範意識や自覚を育んでいく ・人権教育 あらゆる差別や偏見をなくし、互いの人権を認め合う人間性豊かな園児を育成する人権教育を実施する ・防災教育の推進 職員を対象とした研修・講習会や災害発生時の避難方法等、より実践的な防災訓練を実施する ・園児への交通安全教育 交通事故防止に役立つ行動の仕方を身に付けるよう体験型の指導を充実させる ・子どもたちの安全を確保するための指導 園において防犯対策マニュアルを作成するとともに、児童や職員を対象に防犯教室や防災訓練を実施し、意識の向上を図る
施策 3	望ましい生活習慣を身に付けさせ、生涯にわたって健康に過ごすための心身を育んでいく ・給食を通じて食生活に必要な知識と判断力を育み、望ましい生活習慣の定着を図る ・年間食育活動計画
施策 4	特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けた力を育む ・子どもたちの社会性や豊かな人間性を育成するために、職員は日頃から研修等による自己研鑽を図り、またそれを職員間で共有することで園全体として幅広く対応できる体制を整える
施策 5	郷土に対する理解を深めるとともに、国際社会で通用する知識やコミュニケーション能力を身に付けさせ、グローバル社会で生きる力を育む ・外国語教育の充実 外国語によるコミュニケーション能力を育成し、国際的視野を身に付けた生徒の育成を図るため、園における英語教育の充実を図っていく ・給食で知るなごやの魅力 地元の食材を使用した献立や名古屋めしなど特徴ある献立を実施する

目標：保育士は使命感にあふれ、子どもたちを的確に導くことのできる力を身に付ける

施策 6	豊かな人間性と確かな指導力を持った保育士を育成する ・ 経験や職務に応じた職員研修 各種研修を通じて、豊かな人間性と確かな指導力、子どもに対する深い理解力を持ち、子どもから慕われ尊敬されるとともに、保護者から信頼される保育士の育成を図る
施策 7	保育士が子どもや保護者と向き合う時間を確保し、教育活動の充実を図る ・ 学校事務の適正化・効率化 【継続】 I C Tの活用や事務の集約化・平準化を図ることにより、書類作成事務、経理事務等の園事務の適正化・効率化を促進する
施策 8	安心・安全で快適に学ぶことができる環境整備を進めていく ・ 防犯カメラの設置

目指す姿：親子のふれあう機会が充実し、親が安心して子どもの教育に臨んでいる

園児が地域の大人に見守られ、地域と関わりを持ちながら健やかに育っている

施策 9	親子のふれあいと、家庭の教育力の向上を支援する ・ 家庭教育相談事業 幼児期の子どもを持つ保護者を対象に実施し、家庭教育を支援する
施策 10	地域のつながりを大切にし、地域全体で子どもを見守り育む ・ あいさつ活動 あいさつの大切さを再確認するとともに、地域の大人と子どものつながりを深めるよう保護者とも連携し、展開していく
施策 11	地域に開かれ、地域と共にある保育園づくりを進める ・ 園行事の運営補助など、園運営に関わる業務を、地域の大人がボランティアとして支援する「運営サポーター」を実施する